

はじめに

～「生涯活躍のまち あらかわ」をめざして～

「人生百年時代」とも言われる超長寿社会を見据え、生涯にわたって目的や生きがいを持ち、充実した時間を過ごすための「学び」の必要性が改めて注目されています。また、高度情報化や人工知能の発達等により社会が大きく変容する中、心豊かな暮らしの礎とするための「学び」は、広範な分野に及んでいます。

このたび策定した新たな生涯学習推進計画は、「学びによる生涯活躍のまち あらかわ」の実現を基本理念として掲げ、区民の皆様が培ってきた多様な学びの成果を地域の中で分かち合い、地域全体に生涯学習の輪を広げることにより、あらゆる年代の方が活躍できる社会をつくることを目指しております。これは、誰もが自らの可能性を見つけ、活かせることが、実りある成熟社会の姿であるとの考えに基づくものです。

私は、平成16年に区長に就任した際、「区政は区民を幸せにするシステムである」というドメイン（事業領域）を掲げ、区民の幸福度に関する調査・研究を行ってまいりました。その結果、「地域とのつながり」は、区民の皆様が幸福を実感するための重要な要因のひとつであるということが分かっています。

「学び」は、一人ひとりのスキルアップや教養を深めるのみならず、人と人、人と地域をつなげる非常に有効な手段ともなります。荒川区が人情味あふれる心豊かなまちであり続けているのも、区民の皆様がそれぞれの学びを活かし合い、つながることを通じて、お互いに良い影響を与え合うことができる基盤があるからこそと確信しております。

本計画では、こうした「つながり」を活かして「学びの好循環」をさらにひろげていくことが区民の皆さまの幸福度向上に欠かせないと考え、これまでの計画におけるキーワード「学ぶ」「活かす」「つなぐ」に、新しい視点として「ひろげる」を加え、さらなる「幸福実感都市 あらかわ」の実現に向けた具体的な方向性をお示ししています。

区では今後も、本計画に基づき、区民の皆様の生涯学習を支援する様々な取組を行ってまいりますので、これからも積極的な学習活動により、心豊かで実りのある人生をお送りいただければ幸いです。

結びにあたり、本計画の改定にあたり、大変貴重な御示唆を賜りました教育委員、社会教育委員、学識経験者をはじめとする関係者の皆様に対し、厚く御礼申し上げます。

平成30年4月

荒川区長 西川 太 一 郎



◆ 目 次 ◆

第1章	計画策定の背景	1
1	荒川区が目指す生涯学習の推進	
	(1) 地方自治体の役割	
	(2) 生涯にわたる学習活動を推進する意義	
	(3) 荒川区における生涯学習	
2	生涯学習を取り巻く社会状況等	
	(1) 社会状況の変化等	
	(2) 生涯学習に関わる動向等	
第2章	これまでの生涯学習推進の成果と課題	15
1	第二次生涯学習推進計画の成果	
2	調査結果等から得られた現状と課題	
第3章	生涯学習の推進ビジョン	25
1	計画策定の趣旨・期間・位置付け	
	(1) 計画策定の趣旨	
	(2) 計画の期間	
	(3) 計画の位置付け	
2	基本的な考え方	
	(1) 基本理念	
	(2) 計画推進のための四つの視点	
	(3) 計画の体系図	
	(4) 施策の柱	

第4章 計画の推進に向けた取組（重点プロジェクト） 43

- 1 重点プロジェクトの考え方
- 2 4つの重点プロジェクト
 - I 学びがひろがる場や機能の充実
 - II 子どもの未来を育む学びの推進
 - III オリンピック・パラリンピックを契機とした学びの展開
 - IV 地域での活躍を支える学びの拡充

第5章 計画の推進体制 55

- 1 計画の管理方法
- 2 計画の評価方法

資料編 59

- 1 第41回荒川区政世論調査（平成28年度）結果
- 2 荒川区民総幸福度（GAH）に関する区民アンケート調査結果
- 3 荒川区生涯学習推進本部設置要綱
- 4 荒川区社会教育委員名簿
- 5 検討の経過